



公明党

松原市議会議員

み え まつ きよ こ
三重松 清子

第21号

2013年
春号

ひまわり通信

発行責任者: 三重松 清子 (後援会)

〒580-0017 松原市柴垣1丁目9-13 TEL&FAX(072)333-1478

みなさま、こんにちは! 三重松 清子です。

新生活のスタートから早1ヶ月が経とうとしています。みなさまいかがお過ごしでしょうか?

平成25年第一回議会も閉会し、25年度予算も可決されました。今回も代表質問させていただき、予算特別委員会の一員としても議論させていただきました。

昨年12月の総選挙において誕生した自公政権には、山積みされた課題解決への期待が高まっています。政権の取り組むべき課題として、大きく3点、まず**東日本大震災復興の加速**、2点目に甚大な原発被害があった**福島再生**、そして**景気・経済対策**です。3点目の景気・経済対策の柱は、安倍首相がデフレ脱却のため力を入れている機動的な財政政策と、大胆な金融緩和、成長戦略の「3本の矢」からなる政策です。

景気回復、経済再成は国民の願いです。日本の改革への動きを世界の金融市場も注視しています。欧州危機や米国の財政問題などマイナス材料が多い中で、日本の経済復活が鮮明になれば金融市場の再活性化も期待できます。10年以上続くデフレに1日でも早く終止符を打つためにも、先月1票差で参議院を通過した2012年度の補正予算。中身、規模ともに公明党が主張してきた内容であり、まさに「命と暮らしを守る補正予算」となりました。国費10兆3千億円の緊急経済対策が盛り込まれ、2013年度予算としっかり連動させる「15カ月予算」で切れ目なく経済再生への足掛かりを築ける予算です。防災・減災を中心とする公共事業の拡大に伴い、支出が増える地方負担を軽減するため、「地域の元氣臨時交付金」が創設され、地方負担の8割程度を国が肩代わりするようになったことから防災・減災対策が大きく前進すると期待されています。本市においても文化会館の耐震補強工事の実施や橋梁の改良や耐震補強工事、小中学校における安全対策改修工事等々の事業予定が前倒しになるなど市民の安全確保に貢献しています。今後も国の政策をいち早く知り、市民ニーズにあった行政サービスの提供ができるよう訴えて参ります。

予算特別委員会での質問事項

※代表質問は『市議会ニュース』に掲載

1. ■子ども子育て支援事業計画策定事業の内容、及び調査の回収率を上げるための方策、並びに子ども子育て会議の構成員について
2. ■公共施設循環バス運行事業の予算増額の理由、及び運転手の対応など運行サービスの向上について
3. ■健康手帳事業について、予算減額の理由、及び健康管理に役立てるための工夫について
4. ■健康ウォーキング事業について、事業内容、及び趣向を凝らした企画の検討について
5. ■支援教育運営事業について、支援員の配置時間、配置人数、及び事業の効果、並びに児童の親との関わりについて
6. ■不法投棄等防止対策事業において、具体的な事業内容、及び防犯カメラの設置場所等と定期的なチェック体制、並びに委託料の内容について
7. ■竹内街道1400年記念事業の詳細と関連行事に係る予算の内訳、及び観光事業との連携とメディア等を活用した広報企画について
8. ■常備消防活動事業の救急活動支援用スマートフォンの導入について、その事業概要、及び広報等での周知について
9. ■水洗化普及促進事業の内容及び、排水設備工事指定業者の指定理由ならびに、指定業者への利用周知について
10. ■包括的支援事業について、地域包括支援センターの相談件数など事業内容と、介護予防事業との連携について